



TITLE:

# 図書館利用オリエンテーションの 開催

AUTHOR(S):

---

CITATION:

図書館利用オリエンテーションの開催. 静脩 1994, 31(1): 8-9

ISSUE DATE:

1994-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37262>

RIGHT:

経過している閲覧業務システムの更新があります。さらには、OPAC について、土曜開館時における検索の実現を含む利用時間の拡大、インターネットのサーバ上での公開、同時アクセス台数増加時への対処があげられます。

また、将来的課題としては、マルチメディアに対応した、電子図書館システムの実現があります。これについては、今年秋の展示会で予定されているデモンストレーションに向けての取り組みが開始されていますが、このデモシステムと現在の業務システムとの連携が今後の課題になると思われます。

しかしながら、図書館業務システムの基本となるのは、あくまで入力されているデータであって、ハードとソフトは、それを提供するための道具にすぎません。京都大学の所蔵する、膨大で貴重な資料の情報を利用者に提供することが最大の目的であって、それをサポートするのがシステムの課題であることは、いうまでもありません。

#### 附属図書館利用オリエンテーションの開催

附属図書館では、新入生を主な対象とした、図書館利用のためのオリエンテーションを、今年も下記のとおり実施しました。

開催日時と構成

(第一部)

日時：4月19日(火)～21日(木)の3日間

各日11:00-11:40と15:00-15:40の2回

場所：附属図書館3階 AVホール

開催内容：附属図書館の利用について

図書館利用案内ビデオ(約17分)放映

利用方法の説明

1. 貸出・返却・予約・更新等

2. 図書の探索方法

(カード目録とOPACの関係)

3. 二次資料・CD-ROM等の紹介

4. 相互利用とコピーサービス

5. ビデオ・語学テープの利用法

アンケート調査の実施と回収

(第二部)

日時：4月25日(月)～27日(水)の3日間

各日15:00-15:30

場所：附属図書館1階 カウンター前

開催内容：OPAC/ILIS検索について

説明と実演

結果：第一部には3日間で約330名、第二部は同じく約200名の参加がありました。

以下、第一部のアンケート中のコメント欄をもとに、参加者の反応を紹介します。

1) 内容・日程等に関すること

説明については、多くの回答者が「よくわかった」と答えています。

また、主たる対象者は新一回生であったにもかかわらず「4年間利用して知らないことも」あったとの表明もありました。こうしたことから、開催したことは意味があったと判断できます。

なお、実施時間や時期については、授業の登録日程や時間割との重なりを気にした参加者が目立ちました。もっと早める/遅らせてほしいとの意見や、一週間程度の連続開催、項目別に日を分けての開催、あるいはOPAC検索説明も含め一度に集約した開催の希望、ビデオに加え実地見学の要求等の意見が寄せられました。

2) 図書館資料に関すること

こちら、CDや漫画、「もっと通俗的な本」を置いてほしい、あるいは中国書を増やしてほしい等、利用者の非常に多彩な希望が表明されました。

3) OPAC・目録に関するもの

カード目録の分かりにくさも表明されていますが、多くはOPACについてのもので、検索の応答が遅い、変換が悪い、収録対象が少ない等の不満の表明がいくつか見受けられました。

4) 図書館の設備・サービスについて、その他

空調や自転車置き場の改善から、より長時間の開館の希望や、館内端末からの外部接続の実現希望等、図書館の在り方について非常に多様な希望が寄せられました。

このように、オリエンテーション日程中の内容についてはもちろん、2)～4)のような図書館の毎日のサービスに関することについても多くの要望が寄せられました。こうした要望や注文は、図書館に対する期待の表明であると考えられますので、利用者の皆さんにとってさらに便利な図書館となるよう検討していきます。

第二部は、初めてオンライン目録検索をする人のための説明会として、カウンター前の検索端末8台を使って実施しました。

期間中はOPACの説明担当者、検索補助者、操作説明用パネルの操作者の計10名で実施にあたり、進行はOPACの概要説明、和書、洋書、和雑誌、

洋雑誌の検索の順に行い、時間の都合で昨年同様、検索の実演はすべて書名 / 人名キーワードで行いました。

参加希望者が開始15分程前から端末前に着席し始め、開始時間には60名程の参加がありました。OPACについては第一部のアンケートにおいても多くの要望がでていましたが、やはり多くの利用者がオンラ

イン検索の方法について関心を寄せているようです。時間の制約と、機器数が少ないということから、連日先着 8 人の方にはしか検索の実演の機会を提供できず、十分な説明ができませんでした。これらは次年度の課題として検討していきます。

(参考調査掛)

資料紹介

平成 5 年度に購入しました特別図書、学生用図書（高額図書）を紹介します。

特 別 図 書

平成 5（1993）年度

番号	資 料 名 ・ 巻 数 ・ 年	出版社（国）	備付部局
1	現代佛教学術叢刊 1－100	大乘文化出版社 （台北）	文 学 部
2	Ethnic and Racial Studies. Vol. 1-14 [1978-1991] （民族・人種の研究）	Routledge & Kegan Paul （英）	〃
3	Verzeichnis der Orientalischen Handschriften in Deutschland. （ドイツにおける東洋諸語写本目録） Bd. 14 I, II : Persische Handschriften.（ペルシャ語写本） Bd. 17 Reihe A, I, II. Reihe B, I, II : Arabische Handschriften.（アラビア語写本）	Steiner （独）	〃
4	帝国教育 昭和13年 1 月－昭和22年 3 月 「帝国教育」復刻版刊行委員会編 711－810号 復刻版 [1992]	雄松堂出版	教 育 学 部
5	Studies in Moral, Political, and Legal Philosophy. (SMPLP) （プリンストン大学 道徳哲学・政治哲学・法哲学研究叢書）	Princeton Univ. Pr.(米)	大学院人間・ 環境学研究科
6	Cambridge Texts in the History of Political Thought. （ケンブリッジ大学 政治史・政治理論研究叢書）	Cambridge Univ. Pr.(米)	〃
7	Journal of Policy Analysis and Management. Vol. 1-6 [1981-1987]	John Wiley & Sons (米)	〃
8	National Reporter System. Bankruptcy Reporter.（全米判例体系） Vol. 147 <sup>+</sup> etc. 40 Vols. [1992]	West Pub. （米）	法 学 部
9	Study of Monopoly Power / Comp. by B.D. Reams. （独占力の研究：アメリカ 議会調査報告） 12 Vols. [1990]（リプリント）	W.S. Hein （米）	〃
10	British Documents on Foreign Affairs. Part 2, Series 1 : The Paris Peace Conference of 1919 / Ed. by M.L. Dockrill. （英国外務省 機密外交資料）15 Vols. [1991]	U.P.A. （米）	〃
11	地方美軍政資料集（地方現代史資料集 第 1 集） 韓国慶南大学極東研究所編 全 3 巻 [1993]	景仁文化社 （韓国）	経 済 学 部